

令和元年6月20日現在

機関番号：34315

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K02848

研究課題名(和文)中国語教育におけるレリア活用方法の構築

研究課題名(英文)The Construction of "Realia" Teaching Method in Chinese Language Education

研究代表者

中西 千香 (NAKANISHI, Chika)

立命館大学・法学部・准教授

研究者番号：50548592

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：第一期でレリアの中国語教育における可能性について検討した。今期はレリアの特徴を分析し、中国語教育における価値、実践例を提示した。

研究会は1年目と3年目に開催した。多くの中国語教育従事者、中国語学習者が参加した。多くの参加者にレリアの良さを伝えることができた。2年目は冊子『中国語教育のためのレリア読本』の執筆にいそしんだ。結果、2018年3月に当該書籍は完成した。完成後、約200名の中国語教育従事者、学習者に配布した。第一期、今期とレリアの可能性やレリアの良さを伝えることを研究会や、冊子配布という手段で実現した。計画通り、やるべきことは行い、本プロジェクトは成功したと言える。

研究成果の学術的意義や社会的意義

中国語のレリア(中国人が生活の中で目にする文字資料)は、教科書で学ぶ中国語とは異なり、書面語表現が強く、また、口語表現とも混じりあって、学習者にとって、非常に難しいと感じてしまう。しかし、これをうまく乗り越えられるように我々中国語教育従事者が導いていくしかないのである。それに対して、個々が取り組み、レリアにどのような特徴があり、授業の中でどのように実践できるかを毎回の研究会、学会発表で紹介してきた。

また、2年目の最後に250部配布した『中国語教育のためのレリア読本』は、レリアを使って教育することの意義、その効果などを広く伝えることができ、また、巻末の資料では、情報提供ができた。

研究成果の概要(英文)：We discussed the potentials of Chinese "Realia" in Chinese language teaching in the previous phase. Based on the results of the previous phase, we analyzed the characteristics of "Realia", discovered the value of "Realia" in Chinese language teaching, and demonstrated the ways of using Chinese "Realia" in classrooms with examples in this second phase.

We held a workshop on "Realia" in both the first year and the third year. Many Chinese language teachers and learners attended the workshops. We introduced the benefits and functions of Chinese "Realia" in Chinese language teaching to them. In the second year, we worked hard to compile the booklet "Chinese 'Realia' Teaching Method Reader". The booklet has now been sent to teachers and learners. From the previous phase to this phase, we discussed the teaching characteristics and the benefits of "Realia" in Chinese language teaching, held workshops, compiled and distributed the booklet. The research project was therefore successfully completed.

研究分野：中国語学、中国語教育

キーワード：中国語 レリア 書面語 口語 中国語教育

様式 C-19、F-19-1、Z-19、CK-19 (共通)

## 1. 研究開始当初の背景

2013-2016 基盤研究(C)「中国語教育におけるレリアの効果的活用」(研究課題/領域番号 25370639)から引き続いて、中国語のレリア(実物素材)について、取り組んだものである。中国語のレリアは現行の中国語教育ではなかなか学ぶことが難しい書面語が多くあらわれる特徴がある。また、特殊な言い回しなどもあり、初級、中級の学習者には非常に難しい。そこで、中国語のレリアにはどのような特徴があるのか、中国語学習として、どのような学びがあるのかについて、追求、実践を行ってきた。この3年間でさらにレリアの特徴について明らかにし、中国語教育従事者、中国語学習者への還元を行っていきたいと考えた。

## 2. 研究の目的

上述の通り、中国語のレリアは、中国語教育においてなかなか、行き渡らない部分である。現行の中国語教育では口語重視で、少し上のレベルになったところで、学ぶチャンスになかなか恵まれない。しかし、ひとたび中国語圏へ行けば、学習者はレリアと向き合うことになる。

以上を踏まえて、以下の2つを主な目的とした。学習者の書面語への抵抗を少しでも少なくするべく、中国語のレリアの特徴を明らかにすること。学びのスタイルを提案することで、教授法や学びのポイントを提案すること。

## 3. 研究の方法

メンバー個々の分野を決め、例えば、私たちは、次の5つの項目に分かれてそれぞれ作業を行った。街中の中国語情報からみられるものと現行の中国語教育で学ぶ内容とにどのような開きがあるかを特に文体に注意して、検討する。チラシなどのレリアはどのような形で授業に使えるか検討する。日中翻訳論のレベルから日本の漫画の中国語に訳される場合の起こりうる異文化ギャップにどのようなものがあるかを検討する。中国のメディア媒体や小説などからみえる中国文化はどういった形で現れるかを語彙、文法、言い回しの面から検討する。

日常みるレシピ、食品の表示には、どのような着眼点と学びのポイントがあるかを検討する。

この作業のために、それぞれがフィールドに赴き資料を収集したり、ネイティブスピーカーからの意見を集約したり、また資料を分析、データ化したり、また、授業での実践方法を考えるなどし、年一回の研究会や冊子『中国語教育のためのレリア読本』の作成を行った。

また、メンバー内での議論、研究会でのフロアーとの意見交換などをして、個々の研究成果のレベルアップをはかった。

## 4. 研究成果

わたしたちは、中国語のレリア“realia”の中国語教育における援用の価値、その特徴について検討してきた。メンバーそれぞれが毎年、資料収集、そして、分析を行い、論文発表および学会発表を通して、このことをみせてきた。また、年に1回研究会やワークショップを行い、一般の学習者や中国語教育従事者に向けて、レリアとは何か、レリアの特徴を紹介し、中国語教育でどのように援用できるか、援用することが、これからの中国語教育にどういう意味をもつのかについて、利点を述べ、明確な示唆を与えることができた。

そして、2年目の最後には、これらをまとめた冊子『中国語教育のためのレリア読本』を執筆、編集、完成をさせた。本冊子は、レリアの特徴、何が難しくさせているのかということを書いた「理論編」、レリアを使った中国語教育実践例を示した「実践編」、日本の漫画の中国語タイトルやスーパーのチラシなどに頻出する語彙をリストにした、「リスト編」の3つに大きく分けられる。本冊子は、主に中国語教育従事者に配布をした。また、本冊子に対して、中国語教育従事者から意見をもらう機会もあり、この先の研究へとつなぐことができた。

中国語のレリアは、教科書で学ぶ中国語とは異なり、書面語表現が強く、また、口語表現とも混じりあって、学習者にとって、非常に難しいと感じてしまう。しかし、これをうまく乗り越えられるように我々が導いていくしかないのである。そのことに対して、個々が取り組み、どのような特徴があり、授業の中でどのように取り組むべきか、毎回の研究会、学会発表で新しい見方を紹介し、その具体的事例もやってみせて示してきた。

メンバーそれぞれが限られた時間の中で、計画通りに、やるべきことはやりとげた。そして、次なるステップまで探して行けた点からみれば、本プロジェクトは目標以上に達成したと言える。

## 5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計15件)

干野真一 2019「インタビュー映像による中国語ディクテーションの試み」新潟大学言語文化研究, 査読無, 23号, PP195-210

植村麻紀子 2019「教職課程の学生による「高校生対象中国語講座」の取り組み」2018年度言語メディア教育研究センター年報, 査読無(印刷中)

Arakawa Kiyohide, Mizumoto Masaharu 2018 Multiple Chinese Verbs Equivalent to the English Verb "Know", Epistemology for the Rest of the World Oxford University Press, 査読有, PP56-64

中西千香 2018『レリアについて～その特徴と教育的価値』『中国語教育のためのレリア

ア読本』配布版, 査読無, PP7-24  
 中西千香 2018 「実践例: スーパーのチラシから中国語を発見する~レアリア入手からワークシート作成、実践まで」『中国語教育のためのレアリア読本』配布版, 査読無, PP135-143  
 荒川清秀 2018 「中国の街で見る中国語~中国語教育への応用」『中国語教育のためのレアリア読本』配布版, 査読無, PP107-132  
 塩山正純 2018 「初級から中級そして上級へ“口述実録”(インタビュー)」を活用した中国語学習」『中国語教育のためのレアリア読本』配布版, 査読無, PP67-85  
 塩山正純 2018 「“口述実録”を用いた学習の一例 結婚不能让人更幸福, 不如不结婚をテキストにした場合」『中国語教育のためのレアリア読本』配布版, 査読無, PP155-163  
 明木茂夫 2018 「レアリアとしての中国語版日本漫画・アニメ作品~その授業用素材としての価値について~」『中国語教育のためのレアリア読本』配布版, 査読無, PP49-66  
 植村麻紀子 2018 「中華料理のレシピで学ぶ中国語」『中国語教育のためのレアリア読本』配布版, 査読無, PP87-105  
 植村麻紀子 2018 「教室でレアリアをどう活用するか~食品のパッケージと料理のレシピを中心に~」『中国語教育のためのレアリア読本』配布版, 査読無, PP145-154  
 干野真一 2018 「中国語 CM のレアリアとしての可能性」『中国語教育のためのレアリア読本』配布版, 査読無, PP25-47  
 塩山正純 2017 中国語学習におけるレアリアとしての“口述実録(インタビュー)”活用について, 『言語と文化』36号, 査読無, PP169-186  
 明木茂夫 2017 中国語翻訳版日本漫画作品の教材的価値について. 中京大学国際教養学部『国際教養学部論叢』, 第9巻2号, 査読無, PP1-32  
 植村麻紀子 2017 (実践報告)「翻訳を通して中国理解を広げよう」プロジェクト『神田外語大学紀要』, 29号, 査読無, PP319-341

〔学会発表〕(計31件)

中西千香 2019 「新学期までにできること~教材研究から授業準備まで」STMC 第8回研究会「新学期までにまだまだ間に合う!より充実した授業にするために」  
 中西千香 2019 「レアリアを使って授業をすところなる」STMC 第8回研究会「新学期までにまだまだ間に合う!より充実した授業にするために」  
 荒川清秀 2019 「つなぐ中国語 複文に挑戦しよう」孔子学院特別公開講座  
 植村麻紀子 2019 「目標からのバックワードデザインとその評価 中国語教育における実践例をまじえて」神奈川大学外国語科目教育学部主催ワークショップ「外国語科目を学び合う」招待講演  
 植村麻紀子 2019 「目標からのバックワードデザインとレアリアの効果的活用」工学院大学孔子学院講師研修 招待講演  
 荒川清秀 2018 「文明開化と漢語」漢字ミュージアム連続講座 招待講演  
 荒川清秀 2018 「荒川教授の『中国学習ノウハウ』-悩める初級から中級へのステップアップ法」藍天創立25周年特別講演会 招待講演  
 荒川清秀 2018 「中国語を歩く 日中漢字の意味の違いを考える」岐阜大学第8回教養講演会 招待講演  
 中西千香 2018 「レアリアの中の書面語表現とその特徴」中国語教育学会第2回研究会『レアリアのツボ、レアリアのチカラ~レアリアで学ぶ、教える中国語のために~第5弾』  
 荒川清秀 2018 「レアリアの文法」中国語教育学会第2回研究会『レアリアのツボ、レアリアのチカラ~レアリアで学ぶ、教える中国語のために~第5弾』  
 明木茂夫 2018 「中国語翻訳版日本漫画に見る「よい翻訳」と「わるい翻訳」過去の例と最近の傾向」中国語教育学会第2回研究会『レアリアのツボ、レアリアのチカラ~レアリアで学ぶ、教える中国語のために~第5弾』  
 塩山正純 2018 「模擬授業: 講読授業・学習の一例-ニュースでまなぶ硬い動詞そして補語」中国語教育学会第2回研究会『レアリアのツボ、レアリアのチカラ~レアリアで学ぶ、教える中国語のために~第5弾』  
 植村麻紀子 2018 「模擬授業: 料理のレシピを読んでみよう レアリアでジグソー活動」中国語教育学会第2回研究会『レアリアのツボ、レアリアのチカラ~レアリアで学ぶ、教える中国語のために~第5弾』  
 干野真一 2018 「中国語 CM がカバーする文法項目とは」中国語教育学会第2回研究会『レアリアのツボ、レアリアのチカラ~レアリアで学ぶ、教える中国語のために~第5弾』  
 中西千香 2018 「レアリアの特徴とその教え方」北陸大学孔子学院第3回中国語教授法研修会 招待講演  
 中西千香 2018 「魅力ある授業にするために~クラス経営、発音指導から文法指導まで~」第9回 東日本漢語教師セミナー 招待講演  
 植村麻紀子 2018 「中国語教育とCLIL」日本 CLIL 教育学会 第1回大会シンポジウム 招待講演  
 中川正臣、亀井みどり、植村麻紀子 2017 「「参加型研究会」をいかに創り出していくか-参加者の声をもとに活動内容を考える」第13回外国語授業実践フォーラム・第11回協働実

実践研究会

- 中西千香 2017 「教科書を教える」からの脱却～第二外国語、第一セメスターを例に」中国語教育学会第 1 回研究会 「中国語教員、教員志望者のためのブラッシュアップ研修会 「明日からの授業を少しでもよくするために」
- 荒川清秀 2017 「第二外国語の教え方をめぐって」中国語教育学会第 1 回研究会 「中国語教員、教員志望者のためのブラッシュアップ研修会 「明日からの授業を少しでもよくするために」
- 21 植村麻紀子 2016 「留学生との交流・学習の場をいかに作るか」北星学園大学 FD 招待講演
- 22 中西千香 2016 「レリア俯瞰 - 全体像と活用法」中国語教育学会第 3 回研究会中国語教育・学習に関するワークショップ レリアのツボ、レリアのチカラ～レリアで学ぶ、教える中国語のために～第 4 弾
- 23 塩山正純 2016 「インタビュー記事は宝の山 あれもこれもで学ぶ中国語」中国語教育学会第 3 回研究会中国語教育・学習に関するワークショップ レリアのツボ、レリアのチカラ～レリアで学ぶ、教える中国語のために～第 4 弾
- 24 干野真一 2016 「中国語 CM の愉しみ方 語彙・文法面からのアプローチ」中国語教育学会第 3 回研究会中国語教育・学習に関するワークショップ レリアのツボ、レリアのチカラ～レリアで学ぶ、教える中国語のために～第 4 弾
- 25 明木茂夫 2016 「レリアとしての中国語翻訳版日本漫画とアニメーション」中国語教育学会第 3 回研究会中国語教育・学習に関するワークショップ レリアのツボ、レリアのチカラ～レリアで学ぶ、教える中国語のために～第 4 弾
- 26 植村麻紀子 2016 「レシピで学ぶ翻訳のテクニック」中国語教育学会第 3 回研究会中国語教育・学習に関するワークショップ レリアのツボ、レリアのチカラ～レリアで学ぶ、教える中国語のために～第 4 弾
- 27 中西千香、荒川清秀、明木茂夫、塩山正純、植村麻紀子、干野真一 2016 「中国語教育におけるレリアの有用性『レリア読本(仮称)』作成に向けて」日本中国語学会第 66 回全国大会
- 28 植村麻紀子 2016 「神田外語大学の多言語学習空間 MULC(Multilingual Communication Center)の活動紹介及び授業と授業外活動における実践報告」中国語教育学会第 1 回研究会
- 29 荒川清秀 2016 「漢語使令動詞“讓”在転述句中的作用」国際シンポジウム「漢語教学と研究における多様性理論について」国際学会、招待講演
- 30 植村麻紀子 2016 「ことばにみる中国人の思考法 動詞や量詞の具象性を中心に」文教大学言語文化研究所夏期講座 招待講演
- 31 荒川清秀 2016 「中国語の看板を読む - 日本語・英語と比較して」言語学談話会

〔図書〕(計 10 件)

- 荒川清秀 2018 『中国語を歩く：辞書と街角の考現学 パート 3』東方書店、P292
- 沈家煊著 下地早智子監訳 / 干野真一、古賀悠太郎、李夢迪、西村英希、岡本悠馬、崔荔函、蘇霖坤、孫樹喬、王彩麗、肖海娜 訳 2018 『【翻訳書】認知と中国語文法(中国語をベースとした言語類型論・認知言語学研究叢書(5))』、日中言語文化出版社、P454
- 中西千香、荒川清秀、明木茂夫、塩山正純、植村麻紀子、干野真一 2018 『中国語教育のためのレリア読本』配布版、P191
- 明木茂夫 2018 『オタク的翻訳論 日本漫画の中国語訳に見る翻訳の面白さ 巻十五(黒執事)』P16
- 荒川清秀 塩山正純 周関 中西千香 2017 『キャンパスライフ中国語 改訂新版』白帝社、P96
- 明木茂夫 2016 『オタク的翻訳論 日本漫画の中国語訳に見る翻訳の面白さ 巻十二(xxxHoLiC)』自主制作導入誌、P20
- 明木茂夫 2016 『オタク的翻訳論 日本漫画の中国語訳に見る翻訳の面白さ 巻十三(ちはやふる)』自主制作導入誌、P32
- 明木茂夫 2016 『オタク的翻訳論 日本漫画の中国語訳に見る翻訳の面白さ 巻十四(トニーたけざきのガンダム漫画)』自主制作導入誌、P24
- 中西千香 2016 『どんでん話せる中国語作文トレーニング』三修社、P208
- 植村麻紀子 2016 『中国語コミュニケーション〔入門・初級〕』Jリサーチ出版、P230

〔産業財産権〕なし

〔その他〕

- ホームページ等
- ・中国語教育学会 2018 年度第 2 回研究会 『レリアのツボ、レリアのチカラ～レリアで学ぶ、教える中国語のために～第 5 弾』  
<http://www.jacle.org/meeting-20181027/>
  - ・中国語教育学会 2016 年度研究会 中国語教育・学習に関するワークショップ 『レリアのツボ、レリアのちから～レリアで学ぶ、教える中国語のために～第 4 弾』  
<http://www.jacle.org/meeting-20161218/>

## 6. 研究組織

### (1) 研究分担者

研究分担者氏名：荒川 清秀  
ローマ字氏名：ARAKAWA Kiyohide  
所属研究機関名：愛知大学  
部局名：地域政策学部  
職名：教授  
研究者番号（8桁）：00167230

研究分担者氏名：明木 茂夫  
ローマ字氏名：AKEGI Shigeo  
所属研究機関名：中京大学  
部局名：国際教養学部  
職名：教授  
研究者番号（8桁）：10243867

研究分担者氏名：塩山 正純  
ローマ字氏名：SHIOYAMA Masazumi  
所属研究機関名：愛知大学  
部局名：国際コミュニケーション学部  
職名：教授  
研究者番号（8桁）：10329592

研究分担者氏名：植村 麻紀子  
ローマ字氏名：UEMURA Makiko  
所属研究機関名：神田外語大学  
部局名：外国語学部  
職名：准教授  
研究者番号（8桁）：70512383

研究分担者氏名：干野 真一  
ローマ字氏名：HOSHINO Shinichi  
所属研究機関名：新潟大学  
部局名：人文社会科学系  
職名：准教授  
研究者番号（8桁）：00515463

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。